

受領 令和3年11月24日 22時24分

通告番号(18)

令和3年11月24日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
仲 眞 朝 雄 印

一般質問通告書

第513回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>1 産業づくりの推進 農業振興</p> <p>「営農・知産地笑推進課」が設置され、営農指導の強化、農業経営の安定化、農福連携など多岐にわたる課題に取り組まれていると拝察する。</p> <p>(1) その中でも地産地消は、アフターコロナにおける観光の回復にも関連する要素である。地産地消の定義、意義とは何か、改めて求める。</p> <p>(2) 農福連携の意義及び具体的取り組みを求める。</p> <p>(3) 学校給食の地産地消。現状と取り組み事例、各々の課題点を求める。</p> <p>(4) レストラン等の消費者と農業者を繋ぐネットワークが必要だと考えるが、仕組みはあるか。</p> <p>(5) 無農薬野菜は一定の需要があるが、課題も多く栽培が容易でないと、承知している。栽培農家数や出荷量などは把握しているか。</p>	